

ネクサス部門

下水道資源循環型農業

岩見沢地区汚泥利用組合



PR ポイント！

岩見沢地区汚泥利用組合は、市と連携し、下水道資源循環型の農業に取り組んでいます。組合員自らが収量と品質を向上させるための研究を行い、下水汚泥肥料の利用方法を仲間に普及し、利用者を増やしています。一般的には困難とされる稲作への下水汚泥堆肥の利用法を確立し、ブランド米「ゆめぴりか」等の生産を行っています。

市は限られた予算の中で、民有の堆肥盤や大型農業機械の相互利用を支援しています。また、BISTRO 下水道との連携により、下水汚泥肥料の利用がイメージアップするとともに、研究機関・大学等から賛同を得て、組合員向けの勉強会や、協同研究を実施しています。

Key Person



岩見沢地区
汚泥利用組合長
峯 淳一

この取り組みを通じて、下水汚泥肥料などの有機物を用いて農作物を生産する仲間が増えて、環境保全型農業の力強いエネルギーになっています。

組合員の後継者が積極的に取り組みに参加し始め、次世代への継続の期待が持てるようになってきました。

下水汚泥肥料に対する誤解から、消費者が離れたことがありましたが、これからも農作物の品質と安全性をPRし続けて、国民の正しい理解の下、競争力がある農作物を国内・海外に売り出していくことが、必要だと考えています。